

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

松川町

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫枯損木等伐倒処理事業
事業費 1,298,000 円 (うち支援金: 700,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

町内の森林に発生している松くい虫等の枯損木が森林の景観を害しており、更には大雨や台風時に枝折れ・倒木等により、器物及び人命に多大な被害を及ぼす恐れがある。

(2) 本事業の目的

松川町らしい里山の森林景観を再生するとともに、松くい虫枯損木等の倒木による被害を未然防止するため、松林健全化推進事業の補助対象外区域や枯損して数年経過し対象とならない枯損木を対象に、委託により松枯木伐倒処理を実施する。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所

地元からの要望に基づき、町内の森林を対象に実施。

(2) 対象者

松林健全化推進事業の補助対象外区域や枯損して数年経過し対象とならない枯損木を対象とする。

(3) 実施方法

松くい虫等枯損木を伐倒の上、枝払い、玉切り、集積する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和元～4年度)

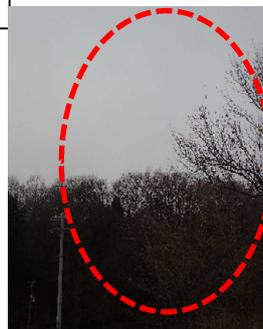
令和元年度から令和4年度までの4年間で、120 m³の処理を計画。

②令和2年度実績 30 m³

着手前



完了後



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

松くい虫等の枯損木を処理することにより、森林景観の形成が図られ、更には住民生活の安全確保につながりました。

(2) 継続性

松くい虫被害木の枯損木が、道路や住宅、施設等から目視できる場所にあり、景観形成と住民生活の安全確保の観点から継続的に実施する必要があります。事業により地域住民の里山への関心が高まったことで、地域による継続的な整備が期待できるものと考えます。

(3) 普及性

地元からの要望に基づき、緊急度や保全対象を鑑みて松くい虫被害木等の枯損木の処理を進めているため、地元住民の注目度も高く、事業効果を感じてもらえたと考えます。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

町内の森林に発生している松くい虫等の枯損木 30 m³の伐倒処理を実施し、道路の通行や送電線等の保護を図り、住民生活の安全と景観の形成につながったものと考えます。

(2) 課題

町内の森林に松くい虫の被害による枯損木があることから、道路や住宅、施設等から目視できる場所にあり、景観形成と住民生活の安全確保の観点からからも、引き続き、伐倒処理していく必要がある。

(3) 今後の取組方向

- 事業を現行どおり継続する
- 事業内容を見直して継続する
- 事業を継続しない